

2.

被災者

1320

60

60

0018

21

REEL No. A-0132

0410

アジア歴史資料センター

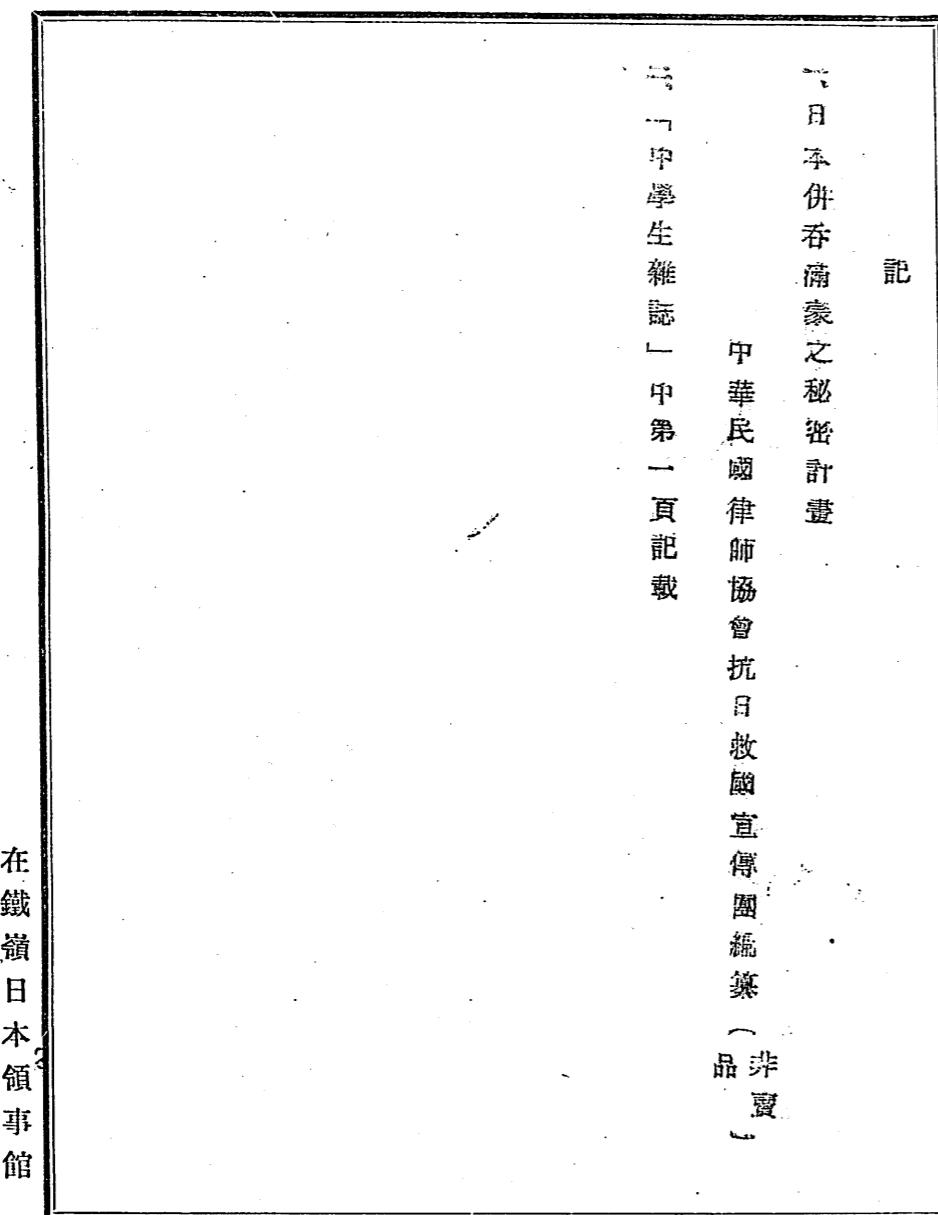
REEL No. A-0132

0411

アジア歴史資料センター

17

1323



23

0020

16

1323

情報部 中

亞細亞局

第一三
3 / 別紙添付
昭和六年拾月廿六日接受

機密第五三〇號

昭和六年十月十九日

在 鐵 嶺

領事代理 石 塚 邦 勝



外務大臣 男爵 幣原喜重郎 腹

ス

排日文書入手ニ關スル件

當地憲兵分遣隊ハ本月十七日中國側郵便局内ニ於テ別紙譯文ノ如キ排日宣傳文書(上海開明書店ヨリ鐵嶺城内新華書局宛)ヲ發且押收シタル旨同様ヨリ通牒アリタルニ付右抄譯別紙添付此段報告

22

0019

16

在 鐵 嶺 日 本 領 事 館

REEL No. A-0132

0412

アジア歴史資料センター

1320

譯文

「日本ノ滿蒙併呑秘密計畫」

(一) 卷頭語トシテ日本ハ世界金融恐慌ト我國ノ災禍ニ乘シ断然奪取的行動ニ出ナタリ日本ヲシテ大平洋ヲ横行セシムルヘカラスト述ヘ
(二) 第一頁ニ「日本滿蒙 權益擁護秘密會議記錄譯要」ト題シ「此ノ秘密會議錄ハ日本浪人カ我國人ニ賣り付ケタルモノニシテ如何ニ日本カ東北四省ノ侵略ニ意ヲ用ヒ居ルヤフ知ルノ覽左ナリ」ト前提シ以下所謂秘密會議ナルモノノ内容ヲ記述セリ

〔昭年十二月七日午前九時ヨリ午後二時ニ亘リ拓務省大臣室

在鐵嶺日本領事館

ニ於テ松田拓相、種石總裁、木村理事、外務省吉田、永井二次官、拓務省小村、小坂二次官、武家參與官、松永條約局長、亞細亞局長、河部陸軍次官、參謀次官、及第一課長出席シ(イ)奉天派ノ外交権ヲ名實共ニ南京ニ歸屬セシメントスルヲ嚴重監視反對シ以テ帝國ノ特殊地位及特權ヲ保持スヘシ(ロ)奉天派ノ鐵道計畫ノ實現ヲ阻止シ滿鐵及大連港ノ發展ヲ期ストノ二大項目ヲ決定シ其ノ目的達成手段トシテ(イ)内亂助長政策(ロ)威壓政策(ハ)親善政策(ニ)共存共榮ヲ標榜スル合辦組織ニ依ル特權取得政策等ヲ採用スルコトトセリト、斷シ以下所謂滿蒙懸案ニ對スル日本側ノ説明及奉天派ノ鐵道計畫カ如何ニ日本ニ脅威ヲ與ヘツアルカヲ敍述ス

在鐵嶺日本領事館

25

0022

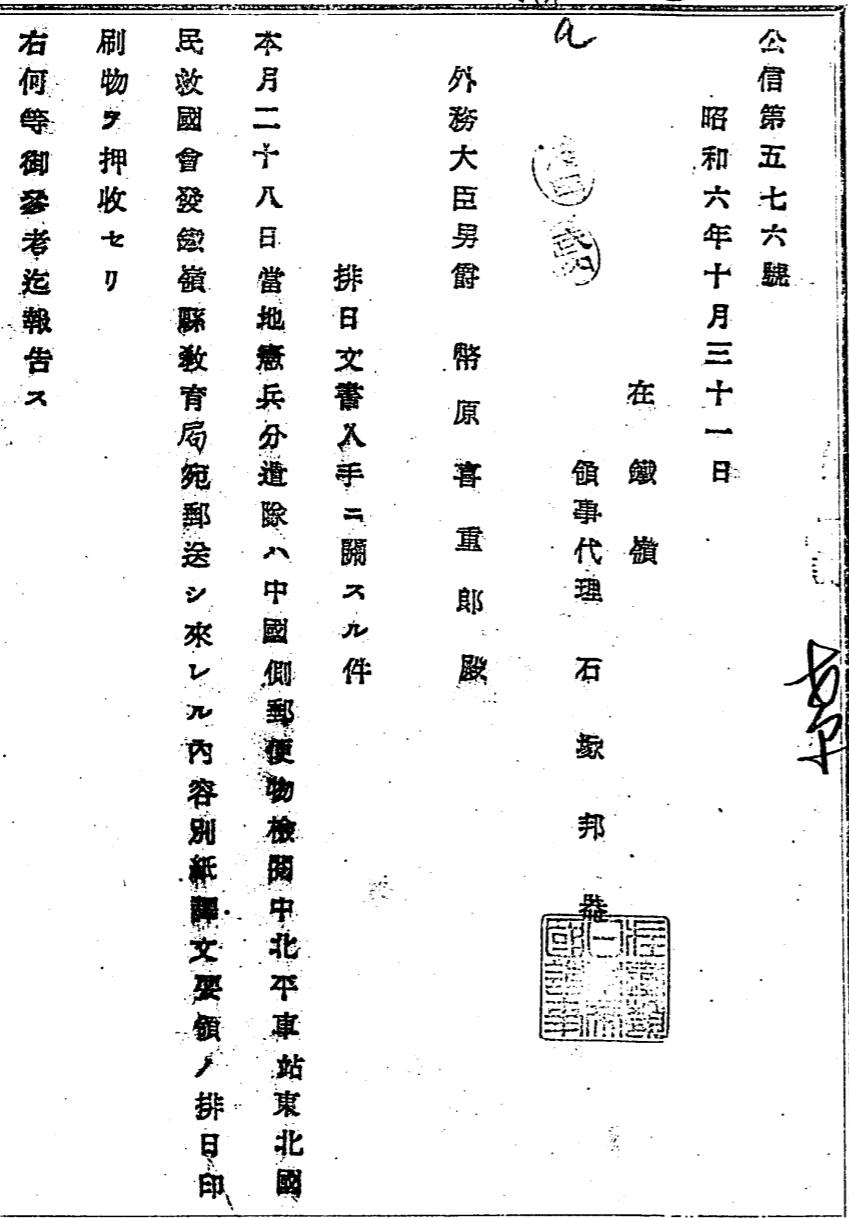
24

0021

19

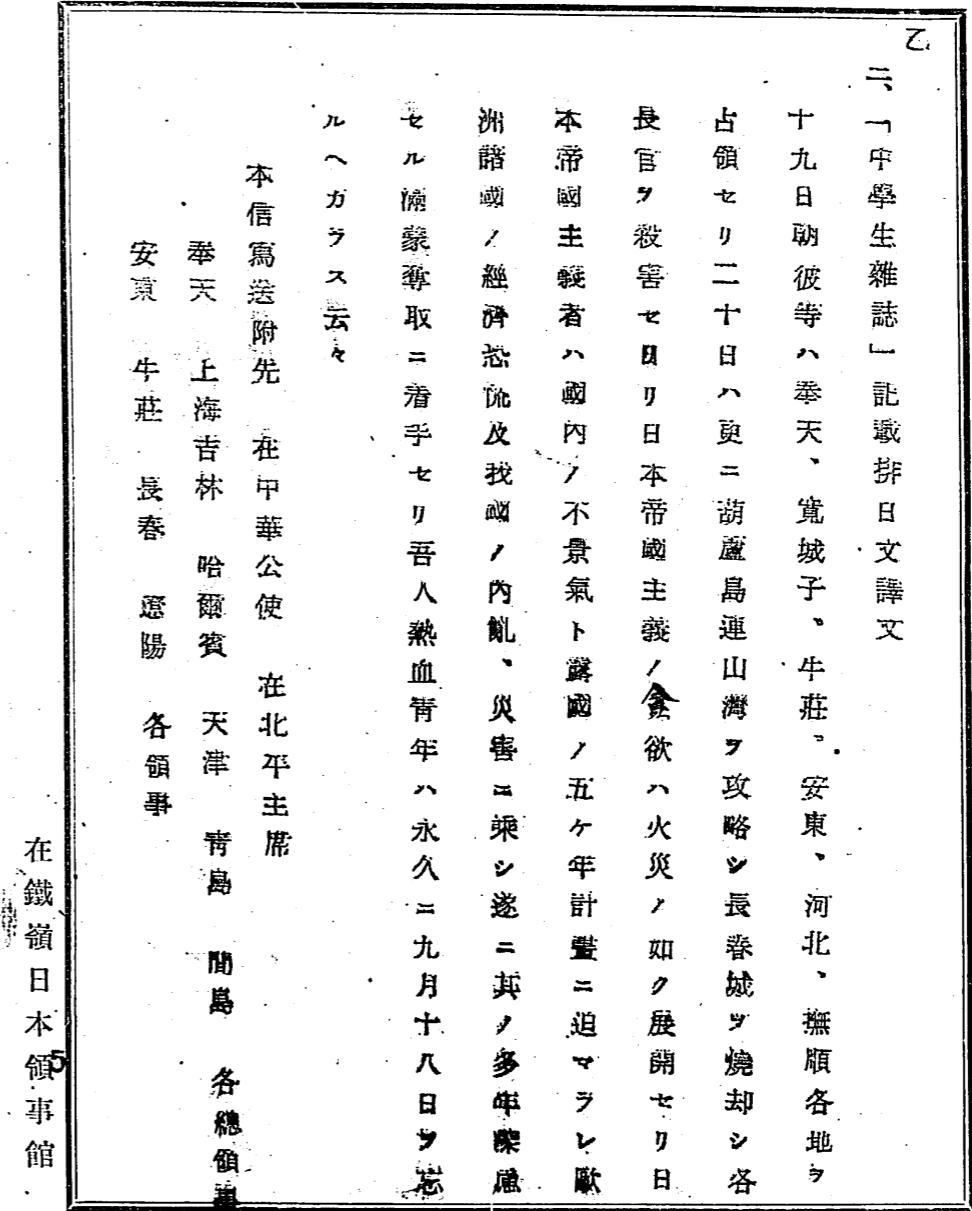
1320

18



27

0024



26

0023

REEL No. A-0132

0413

アジア歴史資料センター

23

1320

釋文

東北各縣政府各機關團體各位ニ告ク

東省ハ不幸ニシテ悲慘ナル日禍ヲ遭遇シ日本軍ノ到ル處田家ハ廢墟トナル血氣アルモノ悲嘆ニ堪ヘサル所ナリ而シテ遂ニ國恥ヲ解セサル徒輩ハ此ノ變亂ニ乘シ各種機關ヲ組織シ表面治安維持ノ名ニ藉口シ裏面ニ政權奪取ノ實ヲ舉ケントシツツアル事ハ既ニ一般人士ノ了解シ居ル所ナリ本會ハ嘗テ嚴重ナル警告ヲ發シ其ノ覺悟ヲ促シタル事アリ近來新聞紙上ニ據レハ小日本倭奴ハ復一段ノ歩調ヲ進メ公然漢奸ヲ利用シテ東北偽政府ヲ組織シ割土人賊ヲ掌リ而モ國人ハ遂ニ欣然命ヲ奉シ完全ニ人形使ヒノ掌中ニアリ實ニ寒心ニ堪ヘス此種機
關ハ本會ノ絶對認メサル所ニシテ之ヲ國際間ニ宣言シテ日本ノ蔭謀

在鐵嶺日本領事館

22

1323

本信寫送附先 在中華公使
在北平主席

奉天 天津 上海 吉林 哈爾濱 開島

各總領事

南京 安東 長春 遼陽 牛莊 鄭家屯

在鐵嶺日本領事館

B

28

0025

0026

29

REEL No. A-0132

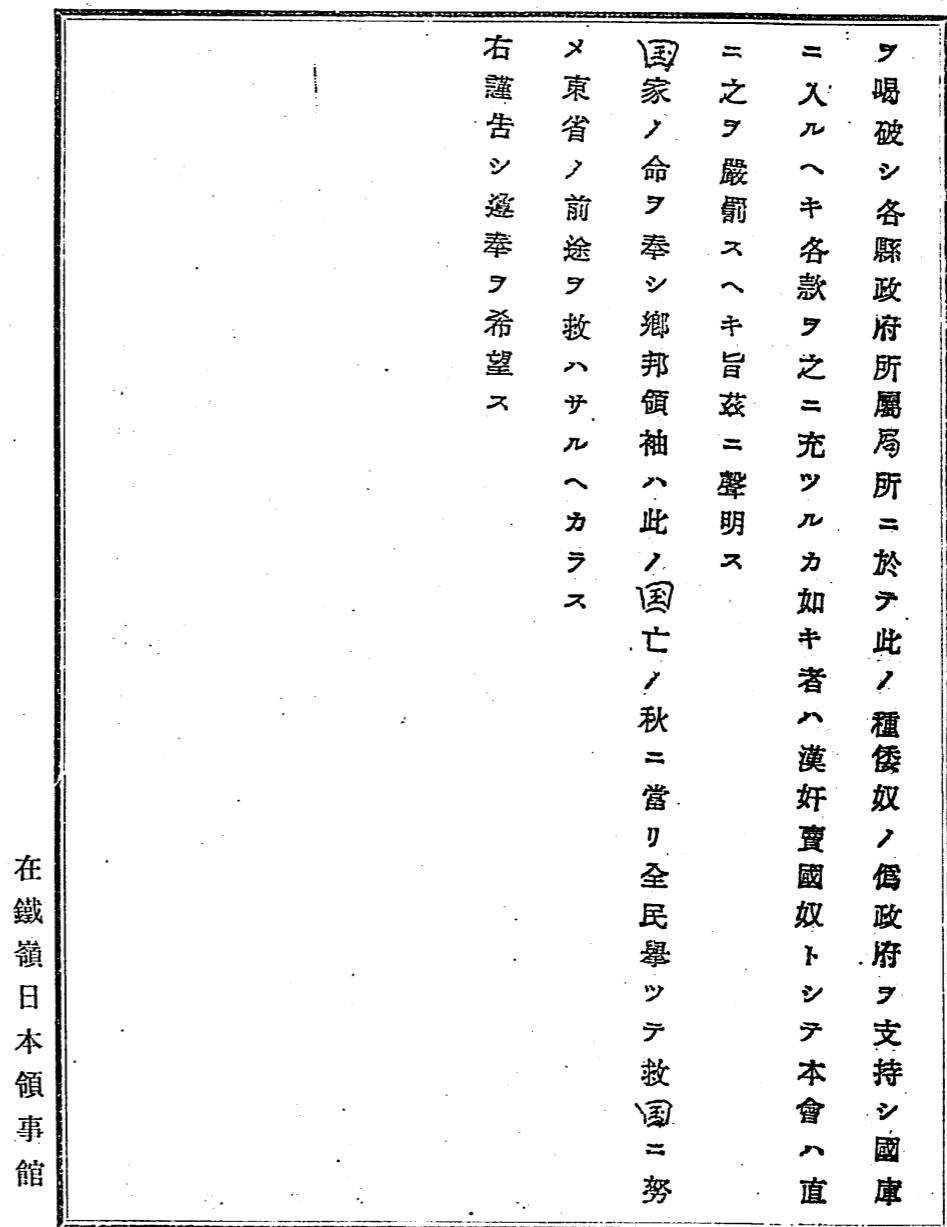
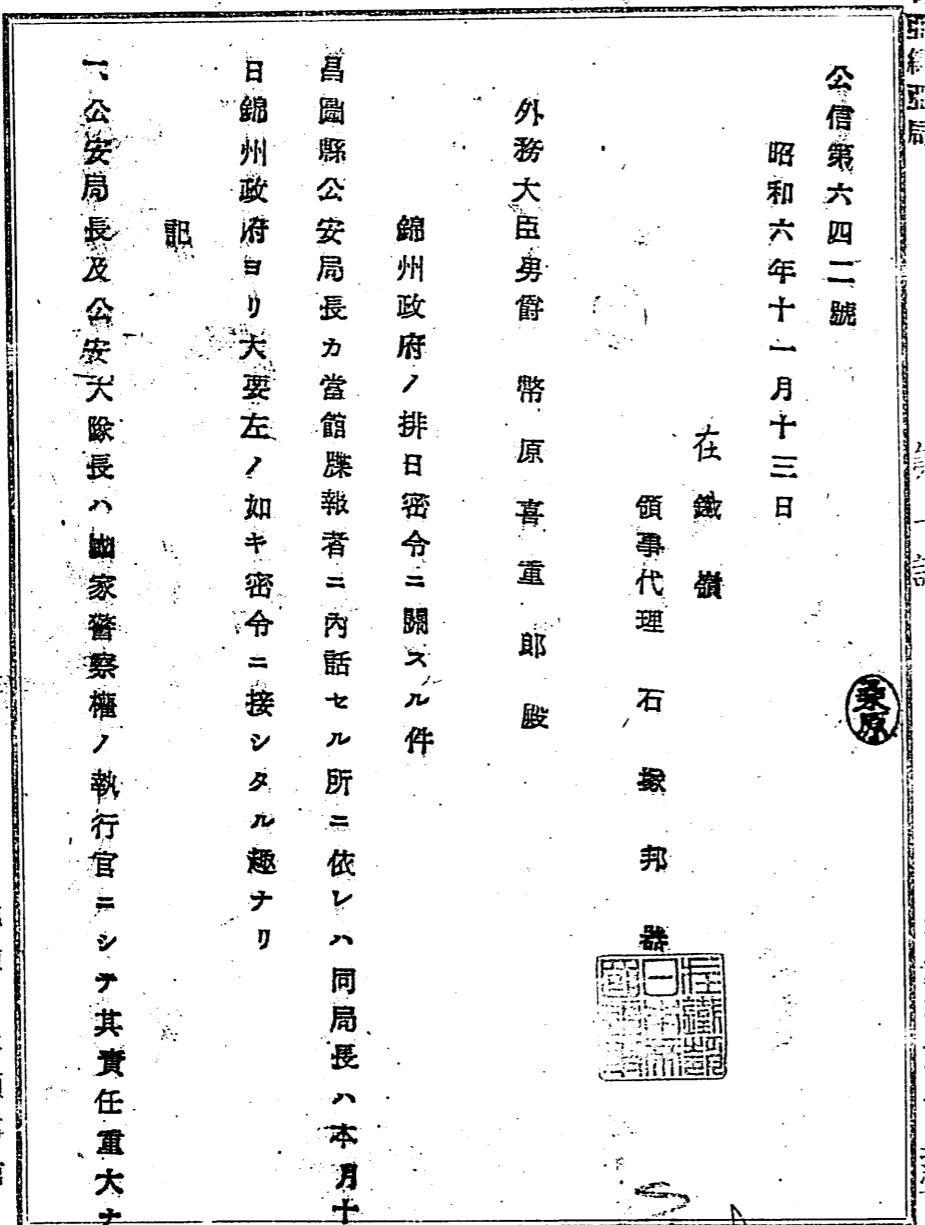
0414

アジア歴史資料センター

REEL No. A-0132

0415

アジア歴史資料センター



REEL No. A-0132

0416

アジア歴史資料センター

在鐵嶺日本領事館

33

0030

27
1323

ルヲ以テ國家ノ認メサル統治機關ノ命令ニヘ絶對服從スヘカラス
若シ國家ノ認メサル統治機關（奉天新政府ヲ指ス）ヨリ縣長又ハ
公安局長等ノ官吏ヲ派遣セルトキヘ絶對ニ之ヲ認メス直ニ之ヲ統
殺スヘシ

二、中國人ニシテ日本人ニ内通スルモノアルヲ發見セルトキヘ直ニ之
ヲ統殺スヘシ

三、中國人ニシテ日本人ノ歡心ヲ買ハシカ爲日本人ト往復シ賣國的行
動ヲ爲スモノ或ハ日本人ノ指揮ニ從ヒ行動ヲナスモノ又ハ國家ヲ
認メサル統治機關ヲ組織シ或ハ組織ノ運動ニ參加スルモノアルト
キヘ發見現場ニ於テ直ニ統殺ニ處スヘシ

右ニ對シ祖昌圖縣長鄭昌圖公安局長等ハ目下ノ處錦州政府ノ命令

在鐵嶺日本領事館

右報告ス

本信寫送附先 在中華公使

在北平主席

奉天總領事

長春 安東 牛莊 遼陽 各領事

26
1323

ルヲ以テ國家ノ認メサル統治機關ノ命令ニヘ絶對服從スヘカラス
若シ國家ノ認メサル統治機關（奉天新政府ヲ指ス）ヨリ縣長又ハ
公安局長等ノ官吏ヲ派遣セルトキヘ絶對ニ之ヲ認メス直ニ之ヲ統
殺スヘシ

二、中國人ニシテ日本人ニ内通スルモノアルヲ發見セルトキヘ直ニ之
ヲ統殺スヘシ

三、中國人ニシテ日本人ノ歡心ヲ買ハシカ爲日本人ト往復シ賣國的行
動ヲ爲スモノ或ハ日本人ノ指揮ニ從ヒ行動ヲナスモノ又ハ國家ヲ
認メサル統治機關ヲ組織シ或ハ組織ノ運動ニ參加スルモノアルト
キヘ發見現場ニ於テ直ニ統殺ニ處スヘシ

右ニ對シ祖昌圖縣長鄭昌圖公安局長等ハ目下ノ處錦州政府ノ命令

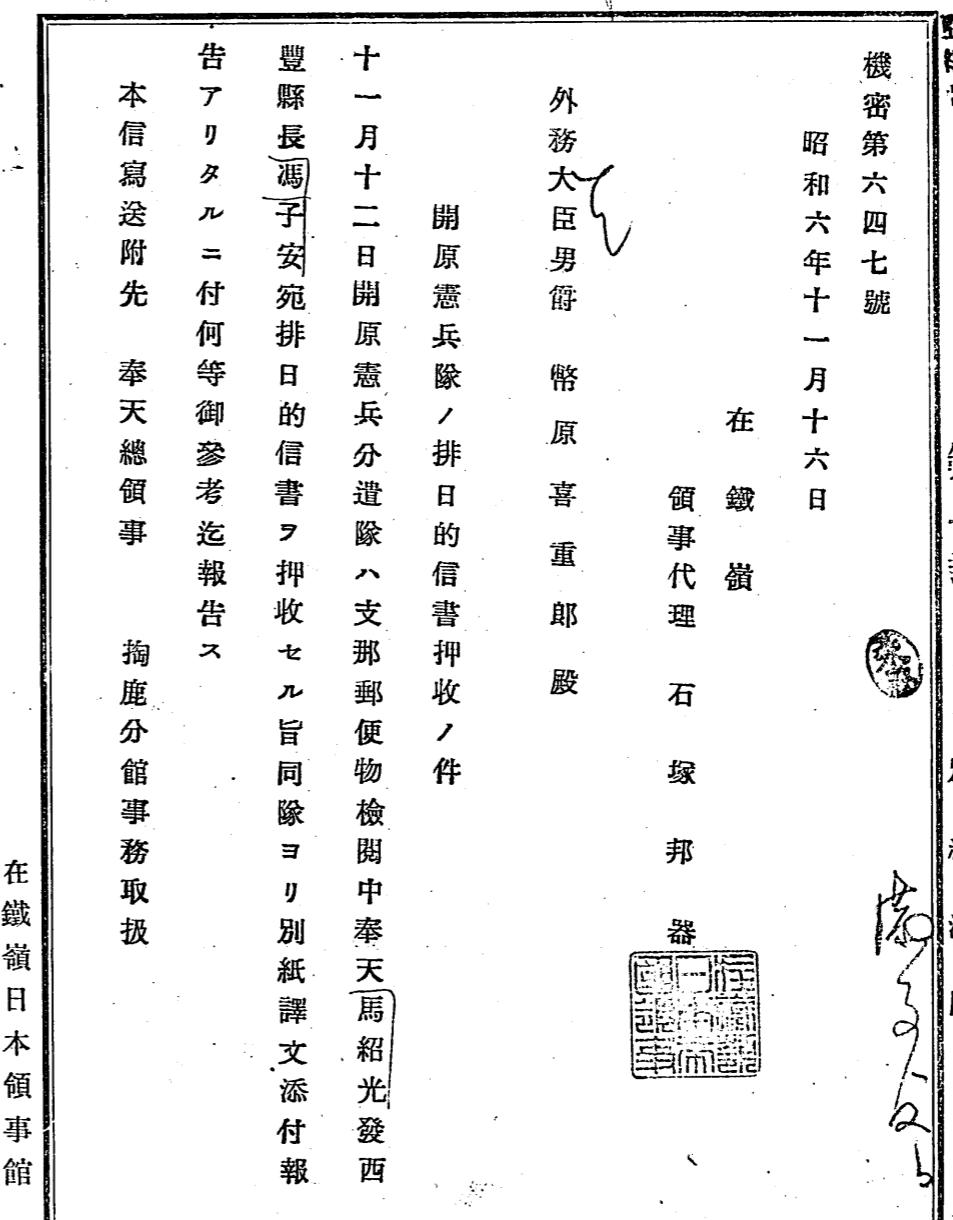
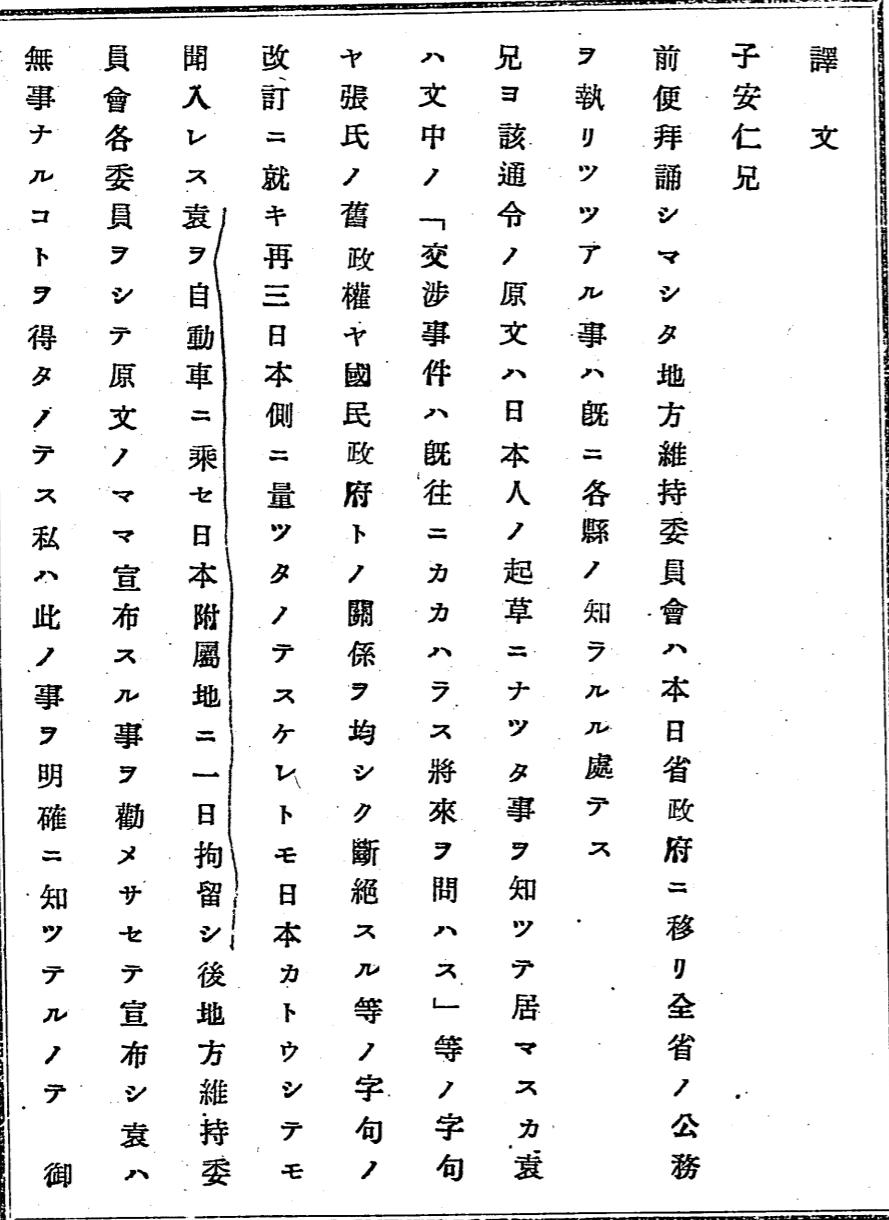
在鐵嶺日本領事館

32 0029

REEL No. A-0132

0417

アジア歴史資料センター



豆細瓦司 第一語 別紙添附

1966年11月16日

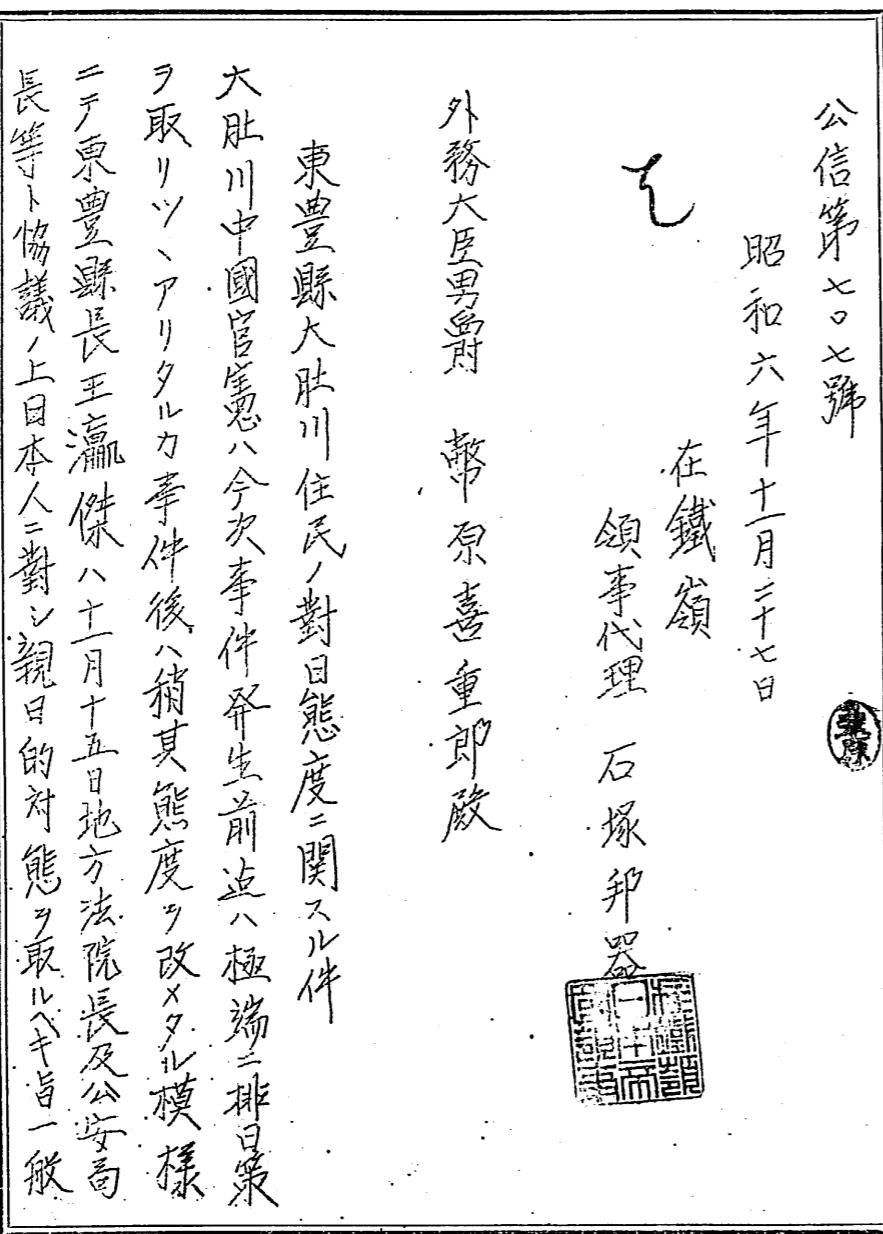
昭和六年十一月十六日

REEL No. A-0132

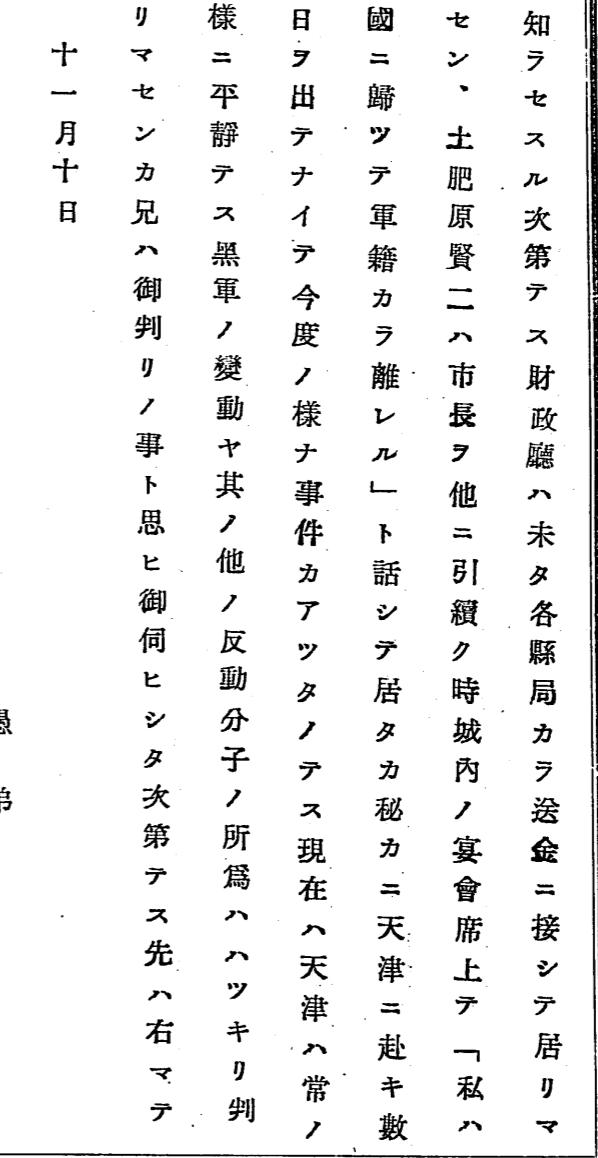
0416

アジア歴史資料センター

情報部 中



30



在鐵嶺日本領事館

REEL No. A-0132

0413

アジア歴史資料センター

33

1323

在鐵嶺日本領事館

在北平主席

奉天 吉林 各總領事

安東、遼陽、長春牛莊各領事

海龍、通化各分館主任

撫鹿分館事務取扱

32

1323

ニ佈告スル所アリタルカ一般民衆ハ依然排日態度ヲ示シ居リ各種學校ニ於テハ從來ノ排日教材ニ依ル教科書ヲ使用シ公然ハ排日思想ノ普及ヲ計リツツアリ

排外機関タル國民外交後援會支部ハ奉天本部ト共ニ辭

職セラカ其幹部ハ教育界ニ職ヲ奉スル關係上依然トシテ

裏面的活動ヲ續ケツ、アリ

右ノ如キ狀態ナルヲ以テ中國官憲ハ表面親日ヲ標榜シ日本人保護ヲニスルモ邦人ノ家屋借入等關係上之壓迫シテ契約ヲ許サヘル實質狀ナリ

右何等御参考迄報悉ス

本信寫送付先

在中華民國公使

在鐵嶺日本領事館

38

0035

0036

39

34

情報部

1323

機密第八〇〇號

昭和六年十二月十九日

在鐵嶺

領事代理 石塚邦器

滿事万月

第一課

昭和六年十一月廿八日接受 K

外務大臣 大養毅殿

排日論文西譯送付一件

十月十五日開原憲兵分遣隊ニ於テ支那側郵便物検閲中
別紙要譯文ヲ掲載セル漢字雜誌「中學生」ヲ發見シ之ヲ
押収セリ

右何等御参考報告ス

在鐵嶺日本領事館

40

28/12
0037

REEL No. A-0132

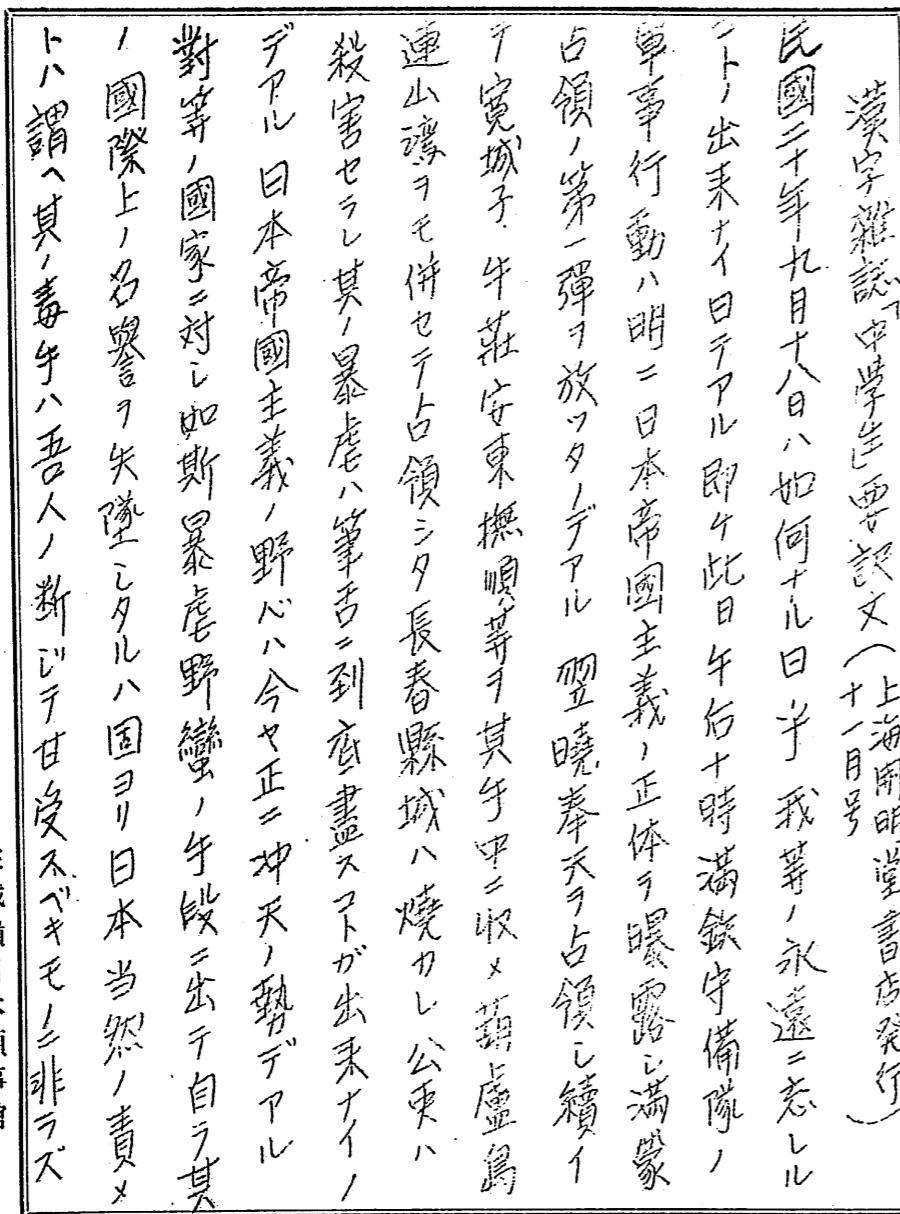
0420

アジア歴史資料センター

REEL No. A-0132

0421

アジア歴史資料センター



在鐵嶺日本領事館

42

0039

在鐵嶺日本領事館

35

1323

本信實達有先 上海 奉天 各總領事
長春領事

41

0038

K

K

於于滿洲奪取、志ヲ植エリ等枚舉ニ違ガナイ從ツテ
滿蒙奪取ノ事タルヤ日本國民ノ夢ダニモ矣レズ年未
ノ決心アツターテアル是我等力今次ノ事變ハ突然的
ニ起シタモノナリ必然的ニ起キタモナリコトヲ特ニ思フ
可キテアル

諸君ヨリ此ノ庚子以來一大國辱キ忘ルナ固ヨリ曲ハ彼ニ
アリ正義ハ最後ノ勝利ナリト虽吾人ハ何時ノ日ニ其ノ
眞理ヲ見ルフトカ出来得ヨウ、現ニ國際聯盟ニ提議
シタ結果ハ如何、世界ノ公理モ遂ニ砲口ノ下ニ屈服シタノ
テハナリカ、熱血ノ青年ヨリ此大國難ニ際シ勇力躍發
奮セヨ、自ラ深ク想ニ致シ外同志ト相謀シテ靜ニ自賞
セヨ却ケ

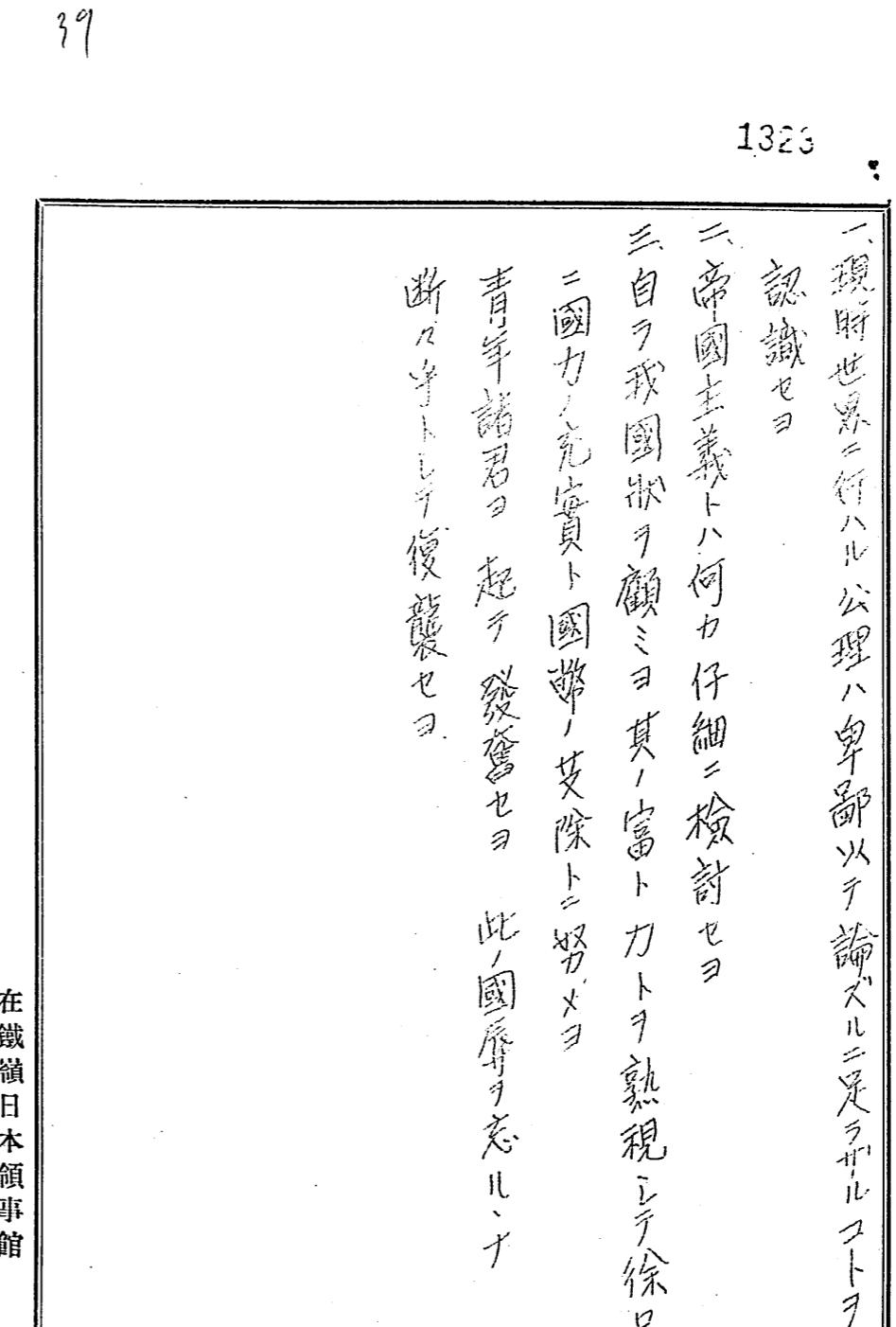
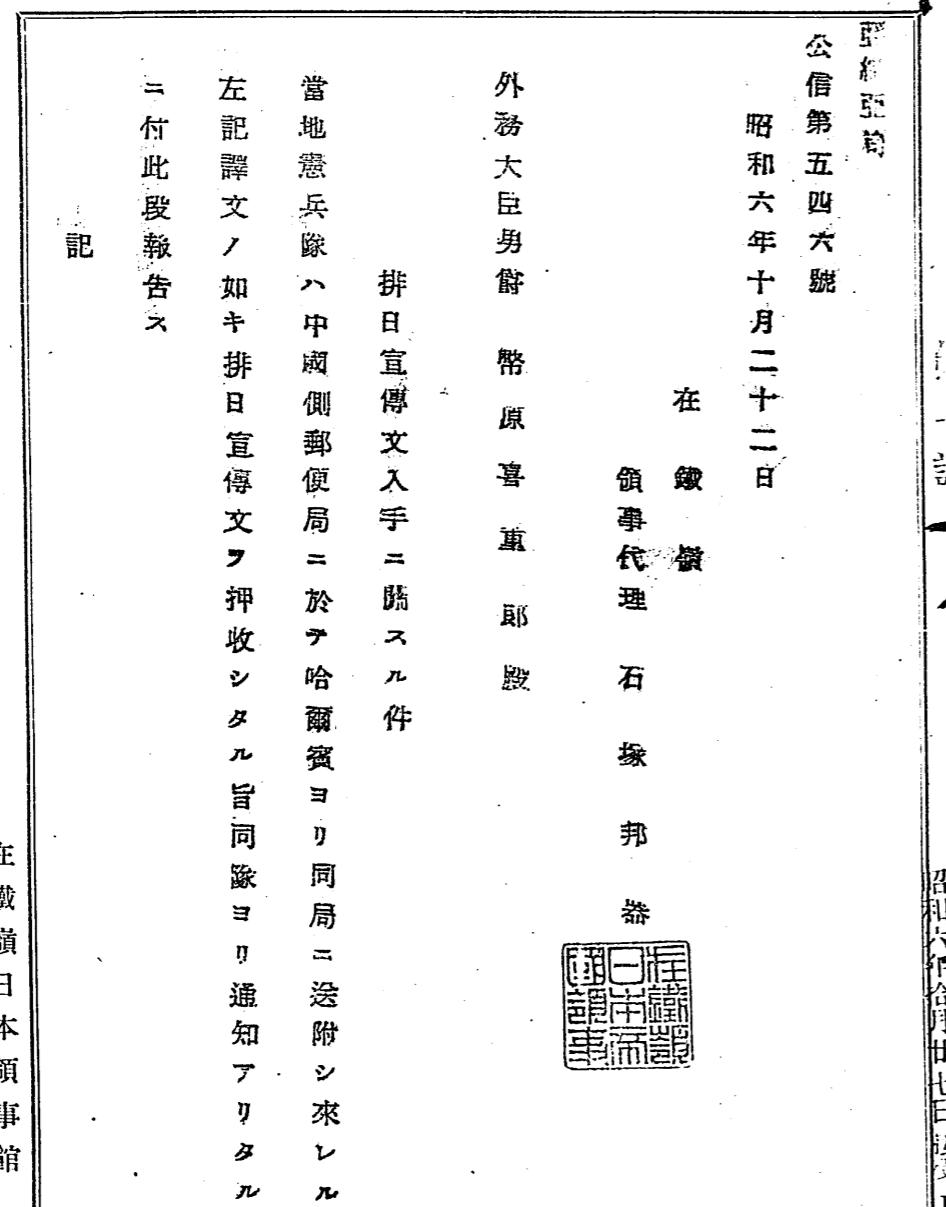
又忍フ能ハサル處ナリ案ニ彼ノ義和團事件以来の大國
辱キアル日本帝國主義ハ一ハ其ノ國民ノ財界不況ト一
ハ露西亞ノ五年計画トニ脅脛カサレ巍然其ノ凶キヲ満
蒙ニ延ベシ俄チ少テ稀有ノ國難ヲ避ケントシク野望ニ外
ナラオイ恰モ世界各國ハ凡テ未曾有ノ經濟恐慌ニ遭
遇ニ各國外ノ事ニ關與スルノ皇運ナク我民國亦以亂相
次テ起リ日本が其ノ野心ヲ遂行スルニ絶交ノ機會ナリト
シ萬事ヲ顧ミスニテ誤行ニタモニテアル

元來日本帝國主義、我カ領土ヲ覗フマ一朝一夕ノ事テ
ハナイ九月十八日彼等が其ノ第一手ヲ染ムル迄ハ度もク
周到ノ準備ヲ整ヘテ居タルナル例ヘバ我國ニ付シテ巨
賈ノ投資ヲナレ經濟上ノ實權ヲ把握シ或ハ各兵学校ニ
シ萬事ヲ顧ミスニテ誤行ニタモニテアル

REEL No. A-0132

0423

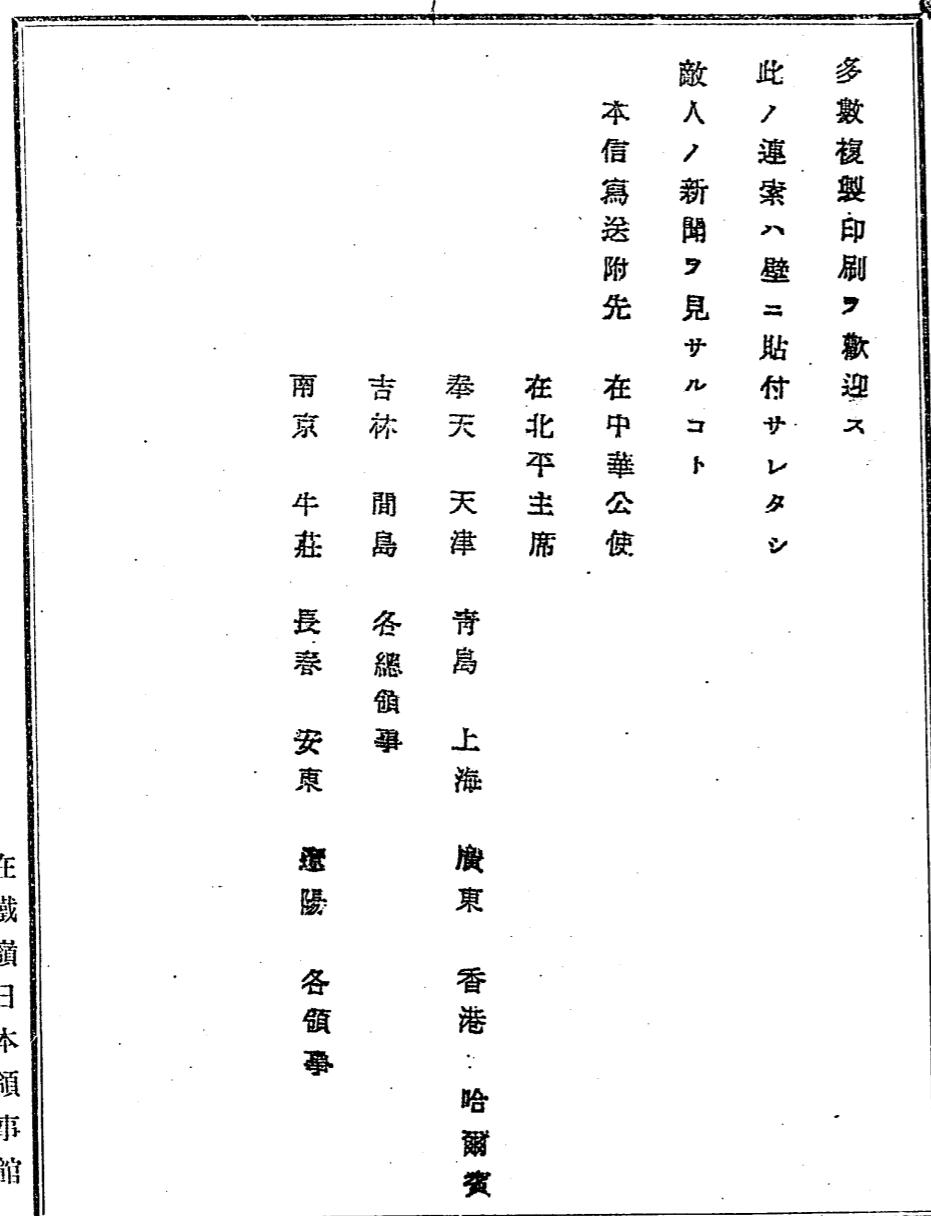
アジア歴史資料センター



0423

42

1323



48

0045

41

1323

救國連索

在鐵嶺日本領事館

在鐵嶺日本領事館

諸君亡國奴タルコトヲ願ハサルナラハ下記「救國連索」九部ヲ亡
國奴タルコトヲ願マサル貴友ニ分寄セラレタシ

(一)敵人ノ貨物ヲ買ハズ
(二)敵人ニ物品ヲ賣與セス
(三)敵人ノ仕事ニ從事セス

同胞ヨ本信ヲ接受セハ隨時切實履行ヲ決心シ最後迄堅持セヨ又二
十四時間内ニ九部ヲ親友ニ送致セヨ若シ送致セス又ハ此ノ三不主
義ヲ實行セサル者ハ亡國奴ニ吉シスル者ナリ此ノ連索ハ全國ニ飛
行シ國恥ヲ雪クニ非サレハ止マス

(欄外)

多數複製印刷ヲ歡迎ス

此ノ連索ハ壁ニ貼付サレタシ

敵人ノ新聞ヲ見サルコト

本信寫送附先 在中華公使

在北平主席

奉天 天津 青島 上海 廣東 香港 哈爾濱
吉林 開島 各總領事

南京 牛莊 長春 安東 遼陽 各領事

在鐵嶺日本領事館

47

0044

REEL No. A-0132

0424

アジア歴史資料センター

REEL No. A-0132

0425

アジア歴史資料センター

44

1323

◎諸君接此連索須臾之壁間◎

諸君之國奴、如不願做亡國奴、請照錄下列
各項、以免遭敵人作事。
（不看敵人報紙）
◎救國連索
（一）救國連索「九份」：分寄與不願做亡國奴之親友。
（二）不賣東西給敵人。
（三）不替敵人作事。
（四）同胞們接到此信、務請立下決心、
切實履行、堅持到底、並在二十四小時內、照抄九份、寄與親友、若是甘不甘、
心做亡國奴、此連索要飛行全國、若非至國朝已雪不止。

在鐵嶺日本領事館

50

0047

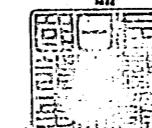
43

1323

公信第五五四號

昭和六年十月二十六日

在鐵嶺 領事代理 石塚邦器



外務大臣男爵 幣原喜重郎殿
本信寫送附先 在中華公使 在北平主席
奉天 天津 青島 上海 廣東 香港 哈爾濱 吉林 開島
各總領事 南京 牛莊 長春 安東 遼陽 各領事
十月二十二日附公信第五五六號拙信ニ關シ右排日宣傳「ビラ」原文（公使宛ノミ）寫茲ニ送附ス
排日宣傳「ビラ」送附ノ件

49

0046

湯洲

3別

昭和六年拾月廿壹日添附

通二

亞羅

通一

通三

REEL No. A-0132

0426

アジア歴史資料センター

干立山

公信第七〇八號

昭和六年十一月二十七日

情報部

在鐵嶺

領事代理 石塚邦器



0048

51

外務大臣男爵 幣原喜重郎 殿
東邊道鎮守使干立山麾下ノ排日態度ニ
關スル件

東邊道鎮守使干立山ハ事件後其ノ名稱ヲ東邊道保安司令ト改メ保
境安民ヲ標榜シツツアルヤニ見受ケラル處管下各地駐屯部隊ハ
舊態依然タルモノアリ東豐西安兩縣下駐屯部隊ノ如キモ今尙遼寧
騎兵第一團第一連及第二連ナル舊稱ヲ揚ケ居リ同駐屯兵等ハ日本

在鐵嶺日本領事館

45

1323

軍カ同地方ニ進出スルニ於テハ必ス之ト一戰スヘシ等暢言シ居ル有
様ニテ右干立山軍ノ言動ハ一般民衆ヲシテ益々反日態度ヲ煽リツツ
アリ

尙處目下判明セル所ニ依レハ干立山麾下ノ全兵力ハ約九千餘名ニシ
テ西安駐屯部隊ハ張正益(元長山ト稱シ馬賊頭目タリ)ノ率ユル騎
兵第二連東豐縣大肚川駐屯部隊ハ張佐華ノ率ル歩兵二營(第一隊第
二隊)ノ外干立山直屬ノ騎兵第一連、迫擊砲隊及公安隊ノ各一連ナ
リ

右何等御参考迄報告ス

本信寫送附先 在中華公使 在北平主席 奉天 吉林 各總領
事、安東 牛莊 長春 遼陽 各領事 海龍 通化 各分館主
任、撫瀋分館事務取扱

在鐵嶺日本領事館

52

0049

昭和六年三月壹日 委受

正規互司

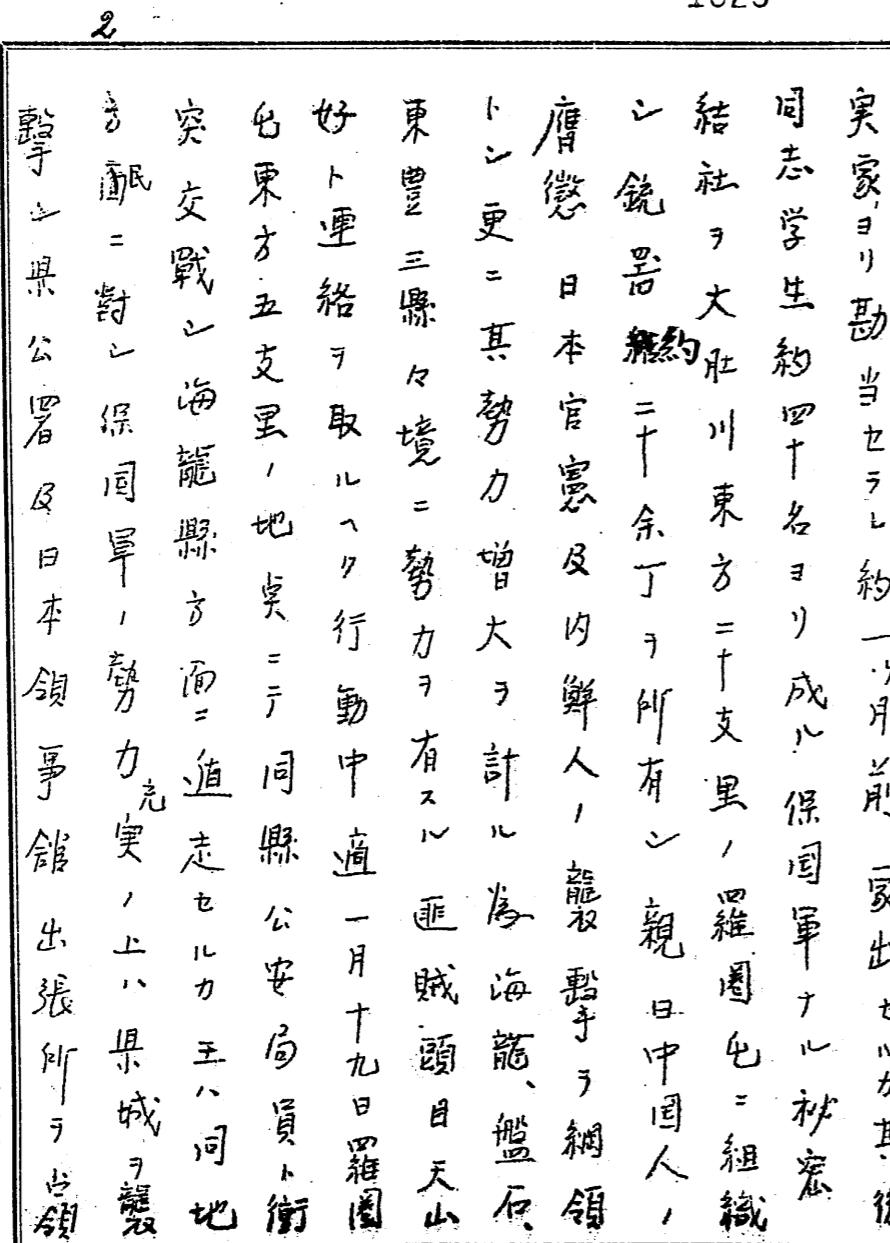
第一課

昭和六年三月壹日 委受

REEL No. A-0132

0427

アジア歴史資料センター

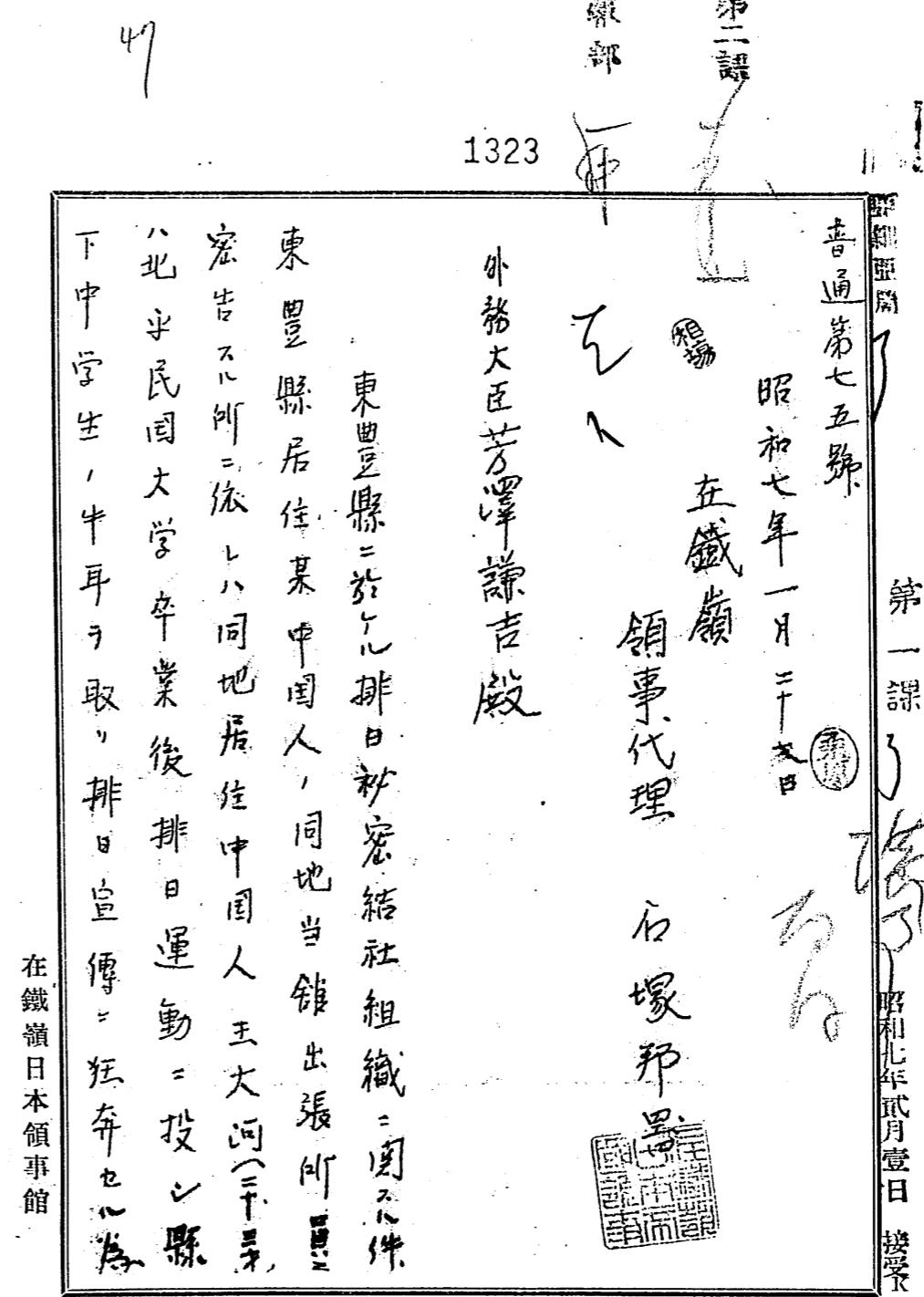


在鐵嶺日本領事館

54

0051

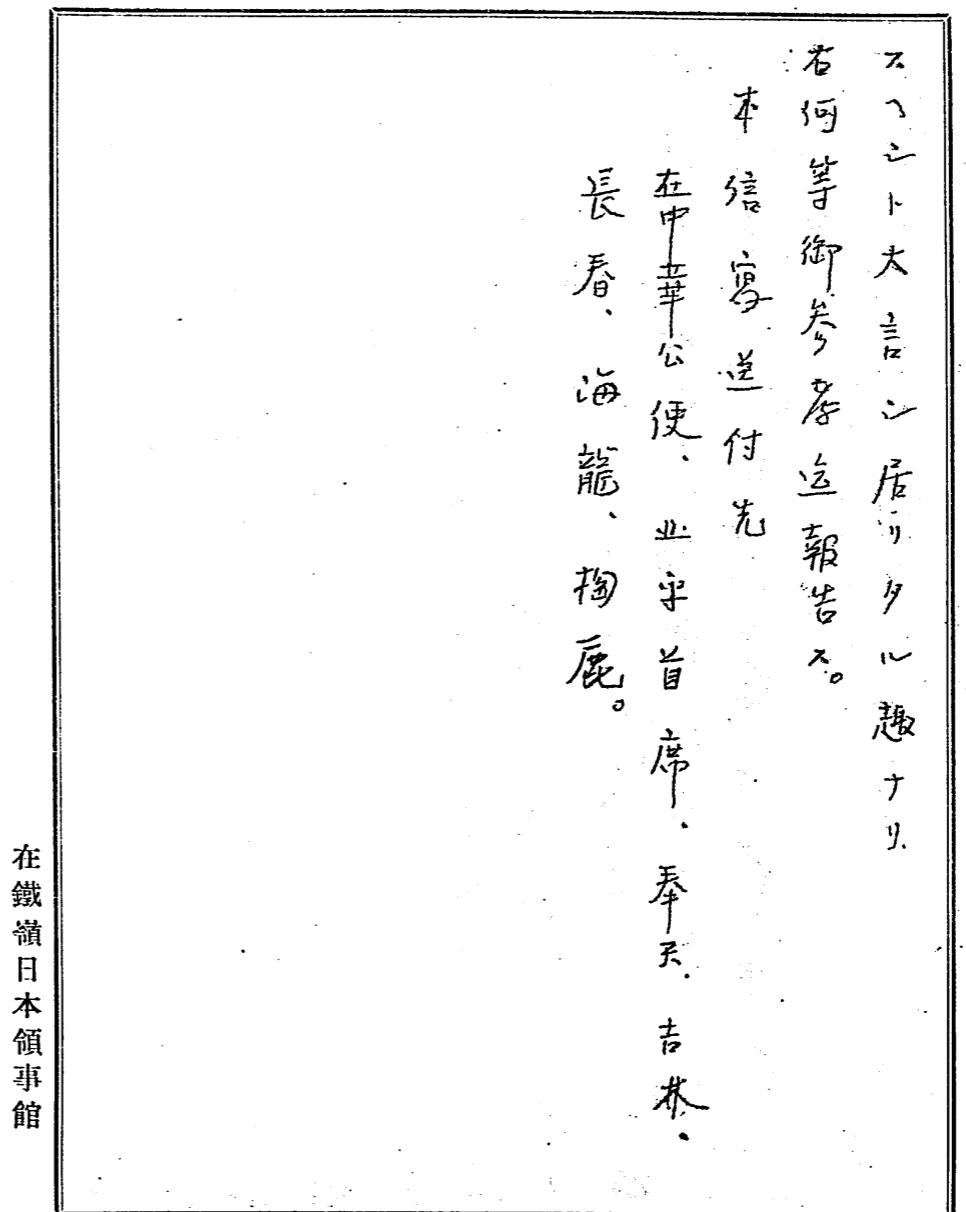
K



昭和七年貳月壹日 橋蒙記

49

1323



在鐵嶺日本領事館

55

0052

REEL No. A-0132

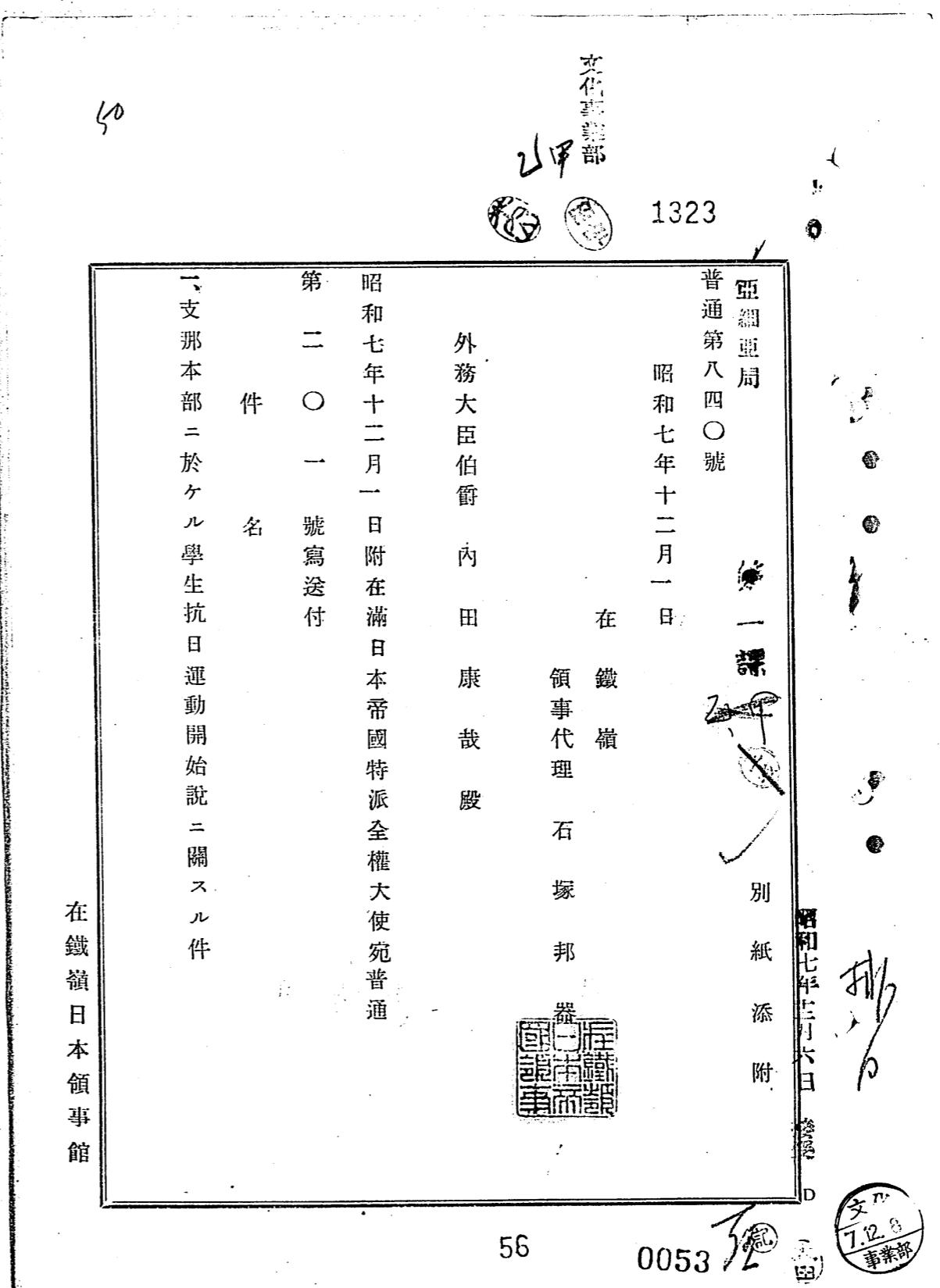
0428

アジア歴史資料センター

REEL No. A-0132

0423

アジア歴史資料センター



馬

1323

普通第二〇一號

昭和七年十二月一日

在 滿

在 鐵 嶺
領事代理 石 塚 邦 器

在 滿

特命全權大使 武 藤 信 義 殿

支那本部ニ於ケル學生抗日運動開始說ニ關スル件

當地滿洲國學生某カ當館々員ニ内話スル所ニ依レハ支那本部ノ學生間ニ對日世界輿論喚起ノ爲全國學生ヲ總動員シ左記方法ニ依ル學生運動開始ノ計畫アル趣ナルニ付御参考迄此段報告ス

記

在 鐵 嶺 日 本 領 事 館

1323

六、全國學生團體ヲ總動員シテ民衆ノ先鋒トナリ抗日救國工作ヲ實行スルコト

五、全國各階級ノ民衆ノ輿論ヲ喚起シテ全民族ノ抗日勢力ヲ振作ス

四、滿洲戰線ニ在ル義勇軍ヲ積極應援シ全國的ニ軍資募集、義勇軍募兵ヲ行フ

三、全國各階級ノ民衆ノ輿論ヲ喚起シテ全民族ノ抗日勢力ヲ促進ス

二、滿洲戰線ニ在ル義勇軍ヲ積極應援シ全國的ニ軍資募集、義勇軍募兵ヲ行フ

一、全國學生團體ヲ總動員シテ民衆ノ先鋒トナリ抗日救國工作ヲ實行スルコト

八、對日經濟絕交ヲ勵行スルコト

在 鐵 嶺 日 本 領 事 館

58

0055

57

0054

REEL No. A-0132

0430

アジア歴史資料センター

53

1323

本信寫送附先

外務大臣

公使 北平

天津 奉天

新京 吉林 安東

牛莊 遼陽 鄭家屯

在鐵嶺日本領事館

0056

59

REEL No. A-0132

0431

アジア歴史資料センター